



**Q：大会期間を通して、チームの結束や雰囲気はどのようなものだったか**

A：春、試合シーズンになってから難しいことをたくさん経験してきて、どうしたら試合でうまくいくのかという試行錯誤を繰り返しながら今大会に臨みました。

一試合一試合、成長することもあれば、反省点や改善点もたくさん見つかったので、自分たちにとってとても良い大会でした。

**Q：印象に残った試合や場面はありますか？**

▲ 芦裕晃太 主将

A：やはり、健大高崎さんとの準決勝の試合です。

1点を追う難しさだったり、どう1点を防ぐかだったり甲子園という素晴らしい舞台で経験させてもらいました。そこをどうしたら改善できるのかという宿題をもらったと思って、またチームを一から見直して行きたいです。

**Q：1月1日以降、地震被害もあって練習が難しいこともあったと思いますが・・・。**

A：いろんな経験をした仲間、苦しい思いをした仲間もいましたが、やはり野球をやらせてもらえる時は、野球を全力でやろう、という話から始まった今年でしたので、「楽しんで」という自分たちのテーマのもと甲子園で全力でプレーすることができました。



**Q：石川県からの応援は届いていましたか。**

A：初戦から準決勝までたくさんの方々に応援していただき、とても力になりましたし、またその分、もっと頑張ろうという気持ちになりました。



**石川県からも  
見えないパワーを  
たくさんいただいて  
十二分に力を  
出してまいりました**

◀ 山下智将 監督

